

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年 3 月 25 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号

機構 20 - 253

電話番号 03-6427-7451

代表者氏名 岡 知己

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	保坂勇太	経営	H2101075
	②	古畑朋子	福祉	H2301054
	③	井口智明	経営	H2001066
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	学童クラブ・児童館		指定番号を入力してください	
評価対象事業所名称	赤坂子ども中高生プラザ 青山館			
事業所連絡先	〒	107-0061		
	所在地	東京都港区北青山3-4-1-201		
	TEL	03-5786-6567		
事業所代表者氏名	八木澤博文			
契約日	2024 年 5 月 22 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 10 月 28 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 11 月 13 日			
自己評価の調査票配付日	2024 年 10 月 28 日			
自己評価結果報告日	2024 年 11 月 13 日			
訪問調査日	2024 年 12 月 13 日			
評価合議日	2025 年 3 月 25 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	施設を現在利用している登録児童数を対象とした利用者調査をおこないました。施設から利用者調査案内を配布し、紙面にて回答してもらう形式にしました。きょうだいを利用している場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートも紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら状況把握に努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>(1)地域とともに育ち、信頼される施設を目指し、開かれた施設づくりを推進します  (2)いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します  (3)赤坂子ども中高生プラザ（本館）との交流を大切にします  (4)高齢者施設との交流を大切にします  (5)地域をめぐる活動や、地域団体・企業との連携事業を行います</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>児童館は子どもの施設である。したがって、子どもとその保護者が自由にのびのびと過ごすことができる居場所となり、私たちはその手助けをするのが基本である。子どもたちは大人の話に敏感であり、たとえ保護者と話す場合でも、そばにいる子どもの存在に気を配り、大人の視点で話をするのは避ける配慮が必要である。  また、すべての子どもを尊重し、呼びかける際には敬称をつけるなどの子どもの権利を守り、子どもと接する際の言動は丁寧に、特定の子どもの保護者だけに关わるのではなく平等に接してほしい。</p> <p>(2)職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>児童館（子育て広場、小学生、中高生の居場所）、学童クラブとそれぞれの区分によって分け隔てなく、利用者1人ひとりを大切にす視点を身につける。「遊び」を通じて、生活のルールや遊ぶ楽しさを体で感じることができるように支援する。そのため、職員は遊具の使い方、遊びのルールなどを把握し、いつでも伝えられるようにする。利用者同士が仲良くなれるよう、橋渡しをする。保護者の相談を受けるときにはなるべく複数人で対応し、ミーティングでも共有をする。利用者同士のトラブルが起きないように、職員はできるだけ各部屋に在中し、こまめな見回りや声をかけたりする。</p>

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、30名を対象とし、26名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式  
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
30名	0名	30名
26名	0名	26名
87%	0%	87%

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が57.7%、「満足」は30.8%、「どちらともいえない」が3.8%、「無回答」が7.7%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて88.5%と大変高い評価を得ています。自由記述ではスケジュールをもう少し事前に把握したいや「かりっぱに来るとリラックス出来るし、元気になります。」「近所にこのような施設があり、助かります。」といった意見がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
コメント				
1.施設の情報(ホームページ、パンフレット等)は、事前に簡単に入手できましたか。	23	0	0	3
この項目では「はい」の回答が88.5%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.5%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
2.その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	21	3	0	2
この項目では「はい」の回答が80.8%、「どちらともいえない」は11.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は7.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
3.施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。	18	2	2	4
この項目では「はい」の回答が69.2%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が7.7%、「無回答・非該当」は15.4%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

4.施設で友人ができましたか。	6	5	13	2
この項目では「はい」の回答が23.1%、「どちらともいえない」は19.2%、「いいえ」が50.0%、「無回答・非該当」は7.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
5.施設を利用する際に守べきルール(きまり)は、わかりやすいものになっていますか。	19	5	1	1
この項目では「はい」の回答が73.2%、「どちらともいえない」は19.2%、「いいえ」が3.8%、「無回答・非該当」は3.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
6.遊具やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていると思いますか。	24	0	2	0
この項目では「はい」の回答が92.3%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
7.施設で提供している乳幼児向けの事業(行事・相談・講座・プログラム等)に参加したことはありますか。	23	0	3	0
この項目では「はい」の回答が88.5%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が11.5%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では「空手教室とこどもまつり」といいコメントがありました。				
8.施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。	23	1	0	2
この項目では「はい」の回答が88.5%、「どちらともいえない」は3.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」7.7%は%という結果となりました。自由記述では、また来たいという意見が寄せられていました。				
9.施設で提供している事業(行事・相談・講座・プログラム等)の内容に満足していますか。	20	2	0	4
この項目では「はい」の回答が76.9%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は15.4%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
10.施設は気軽に利用できるような環境、雰囲気はありますか。	24	0	0	2
この項目では「はい」の回答が92.3%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は7.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

11.施設で子育てに関する情報提供や支援を受けたことがありますか。	5	5	7	9
この項目では「はい」の回答が19.2%、「どちらともいえない」は19.2%、「いいえ」が26.9%、「無回答・非該当」は34.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
12.施設で職員に相談したことはありますか。	5	3	10	8
この項目では「はい」の回答が19.2%、「どちらともいえない」は11.5%、「いいえ」が38.5%、「無回答・非該当」は30.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
13.相談したとき、職員はあなたの話や相談を親身になって聞きましたか？	5	0	0	21
この項目では「はい」の回答が19.2%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は80.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
14.施設では個人情報やプライバシーに関する配慮がなされていますか。	15	2	0	9
この項目では「はい」の回答が57.7%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は34.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
15.施設は要望・意見などを言いやすい雰囲気がありますか。	17	2	1	6
この項目では「はい」の回答が65.6%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が3.8%、「無回答・非該当」は23.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
16.施設は要望・意見に対して適切に対応してくれますか。	16	0	1	9
この項目では「はい」の回答が61.5%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が3.8%、「無回答・非該当」は34.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
17.施設では利用や行事等への参加について、地域へ積極的な働きかけが行われていると思いますか。	14	4	0	8
この項目では「はい」の回答が53.8%、「どちらともいえない」は15.4%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は30.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
18.施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。	13	4	1	8

この項目では「はい」の回答が50.0%、「どちらともいえない」は15.4%、「いいえ」が3.8%、「無回答・非該当」は30.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
19.障害のある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。	9	3	0	14
この項目では「はい」の回答が34.7%、「どちらともいえない」は11.5%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は53.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
20.施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	6
この項目では「はい」の回答が73.1%、「どちらともいえない」は3.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は23.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
21.施設内は安全対策が十分とられていると思いますか。	19	2	0	5
この項目では「はい」の回答が73.1%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は19.2%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
22.施設内は衛生的で清掃などがしっかり行われていると思いますか。	18	2	1	5
この項目では「はい」の回答が69.3%、「どちらともいえない」は7.7%、「いいえ」が3.8%、「無回答・非該当」は19.2%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

調査対象

対象施設の登録児童数を調査対象とし、アンケートにて調査をおこなった。30世帯より回答を得た。回答は対象児童もしくは保護者が利用者の様子を推察し、回答を依頼した。

調査方法

アンケート方式  
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

80名

共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
80名	0名	80名
30名	0名	30名
38%	0%	38%

## 利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が66.7%、「満足」は13.3%、「どちらともいえない」が16.7%、「不満」が3.3%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて80.0%という、高い評価を得ています。自由記述では「施設には、たくさんのおもちゃ、遊ぶ場所があってとても楽しいです。」「大満足で学校に行きたくないと思っている日でも学童に行きたいと言っています。」「いつも有り難うございます。」「子ども達が快適に過ごせるように配慮頂き本当に有り難うございます。」「職員の人たちはみんな優しく面白いです。」「おやつの種類もたくさんあって、とても楽しくて美味しいです。」「というコメントのほか、ドッチボールなどの時間をもっと増やして欲しい、壊れている玩具を直してほしい、怪我などは保護者にこまめに知らせてほしい、もう少し体に良いおやつを増やしてほしい、という意見が寄せられていました。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
1. 学童クラブでの活動は楽しく、興味の持てるものとなっているか	23	5	0	2
この項目では「はい」の回答が76.6%、「どちらともいえない」は16.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は6.6%という結果となりました。自由記述では「児童館内の学童の為、毎日遊びに行っています。」「一輪車が楽しいです。」「というコメントのほか、テレビゲームが壊れていて使えないのは悲しい、という意見が寄せられていました。				
2. 職員は話し相手や、相談相手になってくれるか	15	4	2	9
この項目では「はい」の回答が50.0%、「どちらともいえない」は13.3%、「いいえ」が6.6%、「無回答・非該当」は30.0%という結果となりました。自由記述では「普段から丁寧に接して下さい、話を聞いてくれます。」「一部の職員が優しく聞いてくれる。」「学年が上がるにつれ自分で解決出来るようになり、相談することが減りました。」「というコメントがありました。				
3. おやつ時間が楽しいひとときになっているか	20	5	2	3
この項目では「はい」の回答が66.6%、「どちらともいえない」は16.6%、「いいえ」が6.6%、「無回答・非該当」は10.0%という結果となりました。自由記述では「とても満足しています。」「小さいアイスが特に好きです。」「というコメントのほか、もっとお腹にたまる物を食べたい、という意見が寄せられていました。				

4. 学童クラブでの約束ごと、活動内容について話し合う機会を設け、職員は意見を尊重してくれているか	9	6	2	13
この項目では「はい」の回答が46.0%、「どちらともいえない」は24.3%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は27.0%という結果となりました。自由記述では「もともとイベントでの遊びでは自分に合っていると思っています。」というコメントのほか、話し合ったことがないですという意見が寄せられていました。				
5. 職員から学童クラブの約束ごとの説明を受けているか	15	4	2	9
この項目では「はい」の回答が83.8%、「どちらともいえない」は5.4%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は8.1%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「ここはこう言う場所だからしょうがないんだよと言っていました。」というコメントがありました。				
6. 学童クラブ内の清掃、整理整頓は行き届いているか	11	8	6	5
この項目では「はい」の回答が67.6%、「どちらともいえない」は16.2%、「いいえ」が13.5%、「無回答・非該当」は2.7%という結果となりました。自由記述では本棚の整頓が行き届くと嬉しいという意見が寄せられていました。				
7. 職員の接遇・態度は適切か	23	4	1	2
この項目では「はい」の回答が75.7%、「どちらともいえない」は8.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は16.2%という結果となりました。自由記述では肯定的なコメントがありました。				
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	21	3	2	4
この項目では「はい」の回答が86.5%、「どちらともいえない」は2.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は10.8%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「すごく優しい対応をしてくれていると思います。」というコメントのほか、すぐに対応してくれると助かるという意見が寄せられていました。				
9. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	21	3	3	3
この項目では「はい」の回答が70.0%、「どちらともいえない」は10.0%、「いいえ」が10.0%、「無回答・非該当」は10.0%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
10. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	20	4	1	5
この項目では「はい」の回答が66.6%、「どちらともいえない」は13.3%、「いいえ」が3.3%、「無回答・非該当」は16.6%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				

11. 子どものプライバシーは守られているか	16	4	1	9
この項目では「はい」の回答が53.3%、「どちらともいえない」は13.3%、「いいえ」が3.3%、「無回答・非該当」は30.0%という結果となりました。自由記述では「特に秘密にしたことはありません。」というコメントがありました。				
12. 子どもの不満や要望は対応されているか	14	7	4	5
この項目では「はい」の回答が46.6%、「どちらともいえない」は23.3%、「いいえ」が13.3%、「無回答・非該当」は16.6%という結果となりました。自由記述では「対応可能なことは、よくして下さっています。」というコメントのほか、相談したが解決に至らないことがあった、という意見が寄せられていました。				
13. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	10	3	7	10
この項目では「はい」の回答が33.3%、「どちらともいえない」は10.0%、「いいえ」が23.3%、「無回答・非該当」は33.3%という結果となりました。自由記述では「特に相談事はありません。」というコメントのほか、役所の人ということは聞いたことがない、という意見が寄せられていました。				

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、50名を対象とし、42名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式  
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
50名	0名	50名
42名	0名	42名
84%	0%	84%

**利用者調査全体のコメント**

総合評価は、「大変満足」が35.7%、「満足」は23.8%、「どちらともいえない」が14.3%、「不満」が4.8%、「大変不満」が7.1%、「無回答」14.3%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて63.6%と高い評価を得ています。自由記述では広い場所で運動がしたいや利用時間・玩具の改善を求める声や本が沢山あって楽しいなどの意見が見られました。

**利用者調査結果**

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
コメント				
1.『カリッパ』は、楽しいですか？	30	6	3	3
この項目では「はい」の回答が71.4%、「どちらともいえない」は14.2%、「いいえ」が7.1%、「無回答・非該当」は7.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
2.『カリッパ』の中では、のびのびと過ごせますか？	19	13	8	2
この項目では「はい」の回答が45.2%、「どちらともいえない」は30.9%、「いいえ」が19%、「無回答・非該当」は4.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
3.『カリッパ』では、新しい友達はできましたか？	29	3	9	1
この項目では「はい」の回答が69.0%、「どちらともいえない」は7.1%、「いいえ」が21.4%、「無回答・非該当」は2.3%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

4.『カリッパ』でやってみたいこと、やりたい遊びはありますか？	21	7	11	3
この項目では「はい」の回答が50.0%、「どちらともいえない」は16.6%、「いいえ」が26.1%、「無回答・非該当」は7.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
5.『カリッパ』のみんなでする場所は片付いていると思いますか？	17	10	10	5
この項目では「はい」の回答が40.4%、「どちらともいえない」は23.8%、「いいえ」が23.8%、「無回答・非該当」は11.9%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
6.あなたは、『カリッパ』の職員に気軽に話をしたり相談したりすることができますか？	19	9	8	6
この項目では「はい」の回答が45.2%、「どちらともいえない」は21.4%、「いいえ」が19.0%、「無回答・非該当」は14.2%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
7.あなたが何かしたいと言ったとき、『カリッパ』の職員はそのことについて話を聞いてくれますか？	15	13	8	6
この項目では「はい」の回答が35.7%、「どちらともいえない」は30.9%、「いいえ」が19.0%、「無回答・非該当」は14.2%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
8.子ども同士のけんかや言い争いがあった時に、『カリッパ』の職員は間に入ってくれますか？	20	11	4	7
この項目では「はい」の回答が47.6%、「どちらともいえない」は26.1%、「いいえ」が9.5%、「無回答・非該当」は16.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
9.『カリッパ』の職員は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれますか？	16	5	5	16
この項目では「はい」の回答が38.1%、「どちらともいえない」は11.9%、「いいえ」が11.9%、「無回答・非該当」は38.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
10.『カリッパ』でやってはいけない事について、職員は、なぜいけないのか説明をしてくれますか？	13	11	11	7
この項目では「はい」の回答が30.9%、「どちらともいえない」は26.1%、「いいえ」が26.1%、「無回答・非該当」は16.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

11.あなたがあまり元気がない時や、気分がすぐれない時『カリッパ』の職員は声をかけてくれますか？	12	12	7	11
この項目では「はい」の回答が28.5%、「どちらともいえない」は28.5%、「いいえ」が16.6%、「無回答・非該当」は26.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
12.あなたが利用している時に熱を出したり、ケガをしてしまった時には『カリッパ』の職員が家に連絡をとるなど何か対応してくれますか？	19	11	2	10
この項目では「はい」の回答が45.2%、「どちらともいえない」は26.1%、「いいえ」が4.7%、「無回答・非該当」は23.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
13.『カリッパ』に地域の方がボランティアに来てくれたり、外での活動の時に地域の人と一緒に遊んだりする機会はありますか？	11	7	10	14
この項目では「はい」の回答が26.1%、「どちらともいえない」は16.6%、「いいえ」が23.8%、「無回答・非該当」は33.3%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
14.台風、地震、火災が起きた時は、どのように避難するのかなど、『カリッパ』の職員から聞いていますか？	16	7	12	7
この項目では「はい」の回答が38.0%、「どちらともいえない」は16.6%、「いいえ」が28.5%、「無回答・非該当」は16.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、50名を対象とし、17名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式  
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者総数に対する回答者割合(%)

アンケート	聞き取り	計
50名	0名	50名
17名	0名	17名
34%	0%	34%

**利用者調査全体のコメント**

総合評価は、「大変満足」が52.9%、「満足」は47.1%、「大変満足・満足」を合わせて100%と大変高い評価を得ています。自由記述では飲食ができる場所や利用時間についての要望のほか「施設の賞金の方々がとても親切で利用しやすい場所だと思います。」「気軽に来れる場所。」などの意見がありました。

**利用者調査結果**

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
コメント				
1.施設の情報(ホームページ、パンフレット等)は、事前に簡単に入手できましたか。	4	4	1	8
この項目では「はい」の回答が23.5%、「どちらともいえない」は23.5%、「いいえ」が5.8%、「無回答・非該当」は47%という結果となりました。自由記述では「知人に教えてもらった。」というコメントがありました。				
2.その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	4	5	0	8
この項目では「はい」の回答が23.5%、「どちらともいえない」は29.4%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は47.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
3.施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。	8	2	0	7
この項目では「はい」の回答が47.1%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は41.1%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

4.施設を利用する際を守るべきルール(きまり)は、わかりやすいものになっていますか。	15	0	0	2
この項目では「はい」の回答が88.3%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
5.施設は日常的に中高生だけで使える場や時間を設定していると思いますか。	17	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
6.あなたは、施設で異年齢や他校の人と友達になる機会がありますか。	12	1	1	3
この項目では「はい」の回答が70.6%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が5.8%、「無回答・非該当」は17.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
7.あなたは、施設で乳幼児や小学生と交流する機会がありますか。	11	2	1	3
この項目では「はい」の回答が64.8%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が5.8%、「無回答・非該当」は17.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
8.施設の設備やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていると思いますか。	14	3	0	0
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は17.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
9.施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。	10	5	0	2
この項目では「はい」の回答が58.9%、「どちらともいえない」は29.3%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
10.施設に対する意見等を気軽に言えるような環境・雰囲気になっていますか。	14	1	0	2
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

11.施設は利用者からの意見や提案に対してすぐに対処してくれますか。	14	1	0	2
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
12.施設に苦情や意見があった場合、プラザにそれを伝える方法について知っていますか。	8	4	3	2
この項目では「はい」の回答が47.0%、「どちらともいえない」は23.5%、「いいえ」が17.6%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
13.あなたは施設の職員に気軽に話をしたり、相談したりすることができますか。	14	1	0	2
この項目では「はい」の回答82.3%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
14.子どもや中高生同士のトラブルがあった時、施設の職員は間に入ってくれますか。	10	2	0	5
この項目では「はい」の回答が58.8%、「どちらともいえない」は11.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は29.4%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
15.職員は個々の利用者の状況などを考えた接し方をしていると思いますか。	14	1	0	2
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
16.施設の職員に相談をした内容が、他人に漏れていたというような経験はありませんか。	5	1	5	6
この項目では「はい」の回答が29.4%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が29.4%、「無回答・非該当」は35.2%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
17.障がいのある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。	14	1	0	2
この項目では「はい」の回答が82.3%、「どちらともいえない」は5.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

18.施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	2
この項目では「はい」の回答が88.2%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.7%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
19.台風、地震、火災が起きたときは、どのように避難するかなど、施設の職員から聞いていますか？	6	3	7	1
この項目では「はい」の回答が35.2%、「どちらともいえない」は17.6%、「いいえ」が41.1%、「無回答・非該当」は5.8%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				
20.施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。	12	2	0	3
この項目では「はい」の回答が70.5%、「どちらともいえない」は11.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は17.6%という結果となりました。項目についてのコメントはありませんでした。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>6/6</b>
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇)・非該当1</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <div style="text-align: right;">○非該当</div>
	○あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <div style="text-align: right;">●非該当</div>
	カテゴリー1の講評	
	<b>施設の方針や綱領を職員へ共有し、保護者には説明会で事業内容や方針を伝えています</b> 職員には毎日の朝礼や職員会議を通じて情報共有をし、金曜日にはロングミーティングを実施して法人の職員倫理綱領やガイドラインの読み合わせをおこない、理解の促進に努めています。綱領は掲示し、職員がいつでも振り返られる環境を整えています。また、事業計画の策定後は、職員会議で読み合わせをおこなうとともに、職員に配布して理解を深めています。保護者や利用者に対しては、学童クラブ入会時の説明会で事業内容や理念を丁寧に伝え、学童クラブが港区の事業であることを踏まえ、平等なサービス提供に努める意識を共有しています。	
	<b>組織としての役割分担や方針を職員に周知し、目標達成に向けた運営体制を整えています</b> 組織図や担当表、企画表を配布し、役割を明確にすることで職員が理解しやすいよう工夫し、事務所内に掲示していつでも確認できる環境を整えています。また、職員会議や指導職会議を定期的実施し、職員からの相談に常時対応できる体制も構築しています。年度始めの会議では、前年度の振り返りをもとに方針を修正して事業計画を作成して全職員に共有しています。副館長や係長が計画内容を精査し、業務効率化や職員の負担軽減に努め、スムーズな運営を実現することで、施設全体が一丸となって目標達成に向けて取り組む体制を整えています。	
	<b>重要事項は手順に従い決定し、職員や保護者には記録や掲示等を通じて周知しています</b> 学童クラブは区の事業であるため、区の指示に従い運営し、重要案件の決定手順を定めています。管理職・指導職参加の指導職会で最終判断をおこない、必要に応じて職員会議で決定しています。決定内容は会議録に記録し、回覧と押印確認で職員に周知しています。また、各担当者は随時会議を開き、議事録を作成して職員会議で共有する仕組みも整えています。保護者や利用者には掲示物やホームページ、広報誌、毎月のお知らせを通じて情報を伝え、保護者会や個人面談を実施しています。必要に応じて個別対応をおこない、重要事項を確実に周知しています。	

カテゴリ2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>6/6</b>
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-2の講評		
<p>利用者や職員から意見を収集し、地域の動向も把握しながら計画的に施策を進めています</p> <p>運営課題の収集に向けて、利用者には年度末に満足度アンケートを実施し、活動後にも個別に意見を聞くほか、子どもたちで運営するカリッパ委員会を通じてニーズを把握しています。職員の意向は職員面談や人事異動希望調査、職員会議、日常の会話を通じて収集しています。また、地域福祉の現状把握として地域懇談会や地区運営会議に参加し、福祉事業の動向は法人本部や児童館長会、研修で情報提供を受けています。収集した情報やニーズは職員会議で精査し、重要度に応じて計画的に進め、必要に応じて区と連携して施策を実行する体制を整えています。</p> <p>中長期事業計画を策定し、経営、サービス、人材、地域を考慮した目標を設定しています</p> <p>指定管理機関が定めるプロポーザルをもとに大きな計画を立案し、法人全体として中長期事業計画を策定しています。計画には法人が作成した外部環境や内部環境を考慮した基本認識、4つの基本姿勢と14の行動指針を柱に、経営面やコンプライアンス遵守、サービスの質の向上、人材戦略などを盛り込んでいます。これをもとに単年度計画を策定し、前年度の実施状況を確認しつつ具体的な取り組みや目標を設定しています。計画にもとづく予算編成では、最低賃金引き上げや物価上昇、障がい児利用増などに対して、区と連携する体制を整えています。</p> <p>会議で計画の進捗状況を確認し、法人全体で共有して目標達成に向けて調整しています</p> <p>策定した計画の進捗状況は、毎月の職員会議や各担当別会議、指導職会で振り返りをおこない、進捗確認と今後の方向性を定めています。また、法人内の高齢者施設や学童施設との合同課長会、法人児童施設運営会議を通じて実施報告や計画の情報を共有し、法人全体では毎月1回児童施設調整会議を開き、全施設の進捗状況把握しています。目標値は前年度比を基本に設定し、半期や月単位で確認し、必要に応じて計画を見直しています。さらに、会議では法人内の他施設や自施設の取り組み状況を共有し、計画内容や運営方針を調整する仕組みを整えています。</p>		
カテゴリ-3		
3	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5/5
<b>評価項目1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
<b>カテゴリ-3の講評</b>		
<b>法令遵守と苦情対応体制の強化を進め、安心して利用できる施設環境を整備しています</b> コンプライアンス遵守に向けて、職員会議で職員倫理綱領や行動規範を読み合わせて継続的に周知しているほか、年1回の理解度テストを実施しています。また、ハラスメントや差別への対応として、法人の相談窓口や港区公益通報窓口を周知し、職員が安心して相談できる環境を整えています。利用者には苦情解決制度を周知するため、玄関ホールに苦情窓口を案内し、廊下に相談連絡先を掲示しています。さらに、利用者の苦情には迅速に対応するため、システムフローにもとづき、館長へ報告後、職員会議で共有し、法人本部へ報告する体制を整えています。		
<b>児童虐待対応マニュアルを整備し、関係機関と連携して対応する体制を整えています</b> 職員は日常の言動を振り返り、利用者の気持ちに寄り添い、安心できる環境づくりと虐待防止に努めています。虐待の疑いを把握した際は、港区児童虐待対応マニュアルにもとづき速やかに対応しています。館長へ報告し、管理職で共有した上で必要に応じて指導職にも伝達し、面談や事情聴取、指導を実施して再発防止を図っています。状況に応じて子ども家庭支援センター、児童相談所、学校、主管課などの関係機関と連携し、迅速に対応する体制を整えています。定期的にマニュアルを確認し、職員全体で理解を深め、組織全体で利用者の安全を守っています。		
<b>地域との関わりを深め、福祉ニーズにもとづいた地域貢献活動に取り組んでいます</b> 活動の透明性を高めるため、お知らせ「カリッパ」や法人広報誌の配布、地域懇談会での情報開示に加え、SNSやホームページを活用しています。また、近隣大学の学生サークルや保育専門学校の実習生、中学校の職場体験、特別支援学校の実習生を受け入れ、他施設の現場研修や見学にも対応しています。地域貢献活動では、フードドライブや古着回収、遊具リサイクルを実施し、企業と連携したSDGs活動も実施しています。さらに、港区児童館長会や赤坂地区運営会議、青少年対策青山地区委員会など地域関係機関のネットワークに参画しています。		

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p><b>災害や緊急時に備えた訓練とマニュアル整備を通じ、迅速に対応する体制を整えています</b></p> <p>運営におけるリスクマネジメントに向けて、港区のルールにもとづき災害対応マニュアルや児童施設災害時行動マニュアル、危機管理マニュアルを整備し、不審者対応や衛生管理、感染症対応、個人情報保護の徹底を図っています。また、安全対策として設備運営基準にもとづいた避難訓練や消火訓練を定期的実施し、緊急時に備えた訓練を強化しています。さらに、エビペン使用訓練、不審者対応訓練、心肺蘇生法訓練、小児救急訓練、交通安全教室、火災対応訓練などを実施し、職員や子どもたちが非常時に迅速かつ適切に対応できるように取り組んでいます。</p> <p><b>事例共有や要因分析を通じて再発防止策を策定し、第三者の助言から改善を図っています</b></p> <p>再発防止策を徹底するため、ヒヤリハットを活用しており、事例を定例職員会議で報告・共有し、発生場所や児童の状況、過去の類似事例を収集・分析しています。怪我や事故に発展した事案については迅速に要因を分析し、再発防止策を策定して全職員に共有しています。また、過去に策定したマニュアルを定期的に見直し、必要に応じて更新することで継続的な改善を図っています。さらに、法人オンブズマン会議に事案を報告し、第三者の助言を取り入れることで、客観的な視点を反映した再発防止策を策定し、必要に応じて改訂をおこなっています。</p> <p><b>プライバシーマーク取得や研修等を通じて、個人情報保護の管理体制を整備しています</b></p> <p>法人全体でプライバシーマークを取得し、個人情報保護の導入研修や年次研修を実施しています。また、職員の理解度確認のため年1回試験をおこない、規程の遵守を徹底しています。収集した個人情報は整理し、鍵付き書庫で安全に保管しています。電子機器は役職や職務に応じてアクセス権限やパスワードを設定し、常勤職員には個人IDとアカウントを設定しているほか、個人情報データはオフラインの専用パソコンで管理しています。個人情報保護方針は玄関ホールに掲示し、毎月のお便りでも周知し、保護者にも理解を促しています。</p>		

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目2</b> 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に  
取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

**職員とのコミュニケーションを重視し、働きやすい就労環境の整備に努めています**

常勤職員は法人が採用活動をおこない、専用ホームページやリクルート動画、外部求人サイトを活用しています。施設では近隣大学サークルとの関わりから紹介に繋げる工夫もしています。採用後は年度末の人事考課で個人面談を実施し、職員の意識向上を図るため臨機応変な面談や日常の会話を大切にしています。また、リフレッシュ休暇制度を設け、希望に沿ったシフト体制で働きやすい環境を整えています。さらに、業務担当の工夫や会議での意見交換を通じて知識や意見を共有し、職場のコミュニケーション強化と組織力向上に取り組んでいます。

**職員にキャリアパスを示し、研修や面談を通じて長期的な人材育成に取り組んでいます**

人材育成計画は、法人人事考課制度を活用し、職員にキャリアパスを示すとともに、組織人間力や仕事役割、活動成果にもとづいて評価をおこない、長期的な展望を周知しています。また、人事考課表を用いて職員一人ひとりの振り返りや目標設定を実施し、研修受講につなげているほか、港区や法人が提供する研修を周知し、館内研修の希望も受け付ける体制を整えています。法人の研修部門は年間研修を実施し、事務局が策定する計画に沿って職員の参加を促進しています。指導職に対しては研修や面談を通して役割理解を深め、指導の質向上を支援しています。

**学びの共有や会議を通じて意見交換を促し、サービス向上と業務改善を進めています**

研修後は報告書の作成や職員会議での発表、資料回覧を通じて学びを共有しています。担当別会議や職員会議では、互いの気づきや工夫を話し合い、サービスの質向上や業務改善に取り組んでいます。会議の進行役は常勤・非常勤に関わらず割り当て、全員が主体性を持つよう促しています。管理職や指導職は、職員との円滑な関係を築くため日頃から積極的に声をかけ、意見を引き出しやすい雰囲気づくりに努めています。さらに、事業計画による年度目標を掲げ、全員が当事者として意識を高め、チームとして活動が効果的に進むよう会議を運営しています。

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b> 施設は2020年のコロナ禍に開館し、「児童の活動を止めない」を指針に感染症対策を講じながら工夫を重ねて運営してきました。2024年度は「地域との連携」を重要目標に掲げ、施設内活動の充実と活動の幅を広げる取り組みを進めています。その背景には、コロナ禍で採用された職員が通常の運営経験を持たないことや、地域からの連携行事の申し出が増加している状況があり、職員の対外活動経験の積み上げが必要とされている点を挙げています。具体的な取り組みとして、入場制限や飲食制限の緩和を実施し、ランチタイムやおやつタイムの設定、館まつりでの飲食コーナー設置を通じて地域との交流を促進しました。また、学童クラブではランチづくりを実施し、中高生向けにカフェ活動を展開したことで、施設利用の増加や参加者の満足度向上につながる成果が得られました。今後はランチタイムの事前予約制の廃止や、館まつりの飲食内容、中高生カフェメニューのグレードアップをおこない、さらなる利用者満足度の向上を目指します。引き続き施設運営の改善を進めながら、地域とのつながりをさらに強化し、こどもたちに多様で充実した活動機会を継続的に提供していく方針です。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> 当施設は、コロナ禍後の社会環境に柔軟に適応し、従来の枠組みにとらわれない新しい形の地域活動に取り組んでいます。特に都心・青山という恵まれた立地を最大限に活かし、地域に多くの企業が集まるという特性を活かして、企業との連携を推進しています。また、企業側の社会貢献活動のニーズとも一致し、地域資源を有効活用した活動が展開されており、今後もさらなる広がりが期待されています。地域との連携は、地域社会との協力関係を一層強化し、施設が地域の中で重要な役割を担うきっかけともなっています。同時に、活動の幅が拡大する中、効率的なリソース配分や運営体制の最適化が求められる場面もあり、施設ではこの課題を認識し、優先順位を明確にしながら持続可能で効果的な活動を検討しています。また、デジタルネイティブ世代のニーズに応えるため、SNSを活用した情報発信を強化するとともに、保護者向けのICTサービス展開も視野に入れることで、利便性のさらなる向上が見込まれます。改善活動により地域とのつながりをさらに深め、活動の質を高めるとともに、今後は活動の継続性や効果を検証し、地域と施設が共に成長する持続可能な連携体制の構築を期待します。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

施設は、地域連携の強化、事業内容の広報の展開、ICT化の促進を重要課題として掲げ、取り組みを進めてきました。地域や企業からの連携事業の申し出が増えたことや、中高生利用者から「お知らせはSNSの方が見やすい」という要望に加えて、利用申請のデジタル化が進んでいることが背景にあります。具体的な取り組みとして、地域や学校、企業と連携したイベントを積極的に実施し、地域との交流機会を拡大しました。また、中高生向けのお知らせは紙媒体からSNSへ切り替え、情報の伝達効率を高め、より多くの利用者に迅速に情報を届けられるよう改善しました。さらに、業務効率化を図るため、月間企画書や報告書の管理方法を従来の印刷物からデジタル回覧に変更し、オンラインフォームを活用した利用申請の受付も導入しました。取り組みの結果、地域連携事業は計画通りに進み、SNSを活用した広報活動は中高生だけでなく地域全体からも好評を得ています。今後は利用者のニーズをさらに把握し、広報活動の質を向上させることで施設の認知度拡大と利用促進を目指します。また、地域や企業との連携を一層強化し、柔軟な改善を継続することで、地域に信頼される施設運営を実現していく方針です。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li><li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li></ul>
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li><li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li><li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li><li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li></ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

当施設は、利用者の声に真摯に耳を傾けながら、学童クラブの多様化する利用ニーズに対応するための改善活動を進めています。共働き世帯の増加やこどもの習い事の多様化に伴い、学童利用の用途が複雑化する中、施設は現場の状況に合わせた柔軟な運営を心掛けています。特に、子どもたち自身が運営に関わる「カリッパ委員会」の活動や、利用者アンケートを通じて意見を収集し、ニーズの把握と具体的な改善につなげています。この取り組みは、子どもたちに主体性や協力する姿勢を育むだけでなく、施設運営そのものが利用者目線に立ち、常に改善し続ける仕組みを作り出しています。さらに、職員の意見やアイデアも積極的に取り入れることで、サービス内容の充実や質の向上にも取り組んでおり、幅広い世代への利用者拡大にもつなげています。また、広報活動の工夫もおこない、施設の取り組みや魅力を多くの人に伝えることで、新たな利用者層の獲得と満足度向上を目指しています。今後もより多くの世代にとって必要とされる学童施設へと成長していくことを期待します。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>学童クラブでは、さまざまな媒体を活用して、利用希望者に情報を発信しています</p> <p>学童クラブの情報は、港区や法人のホームページ、施設案内リーフレット、毎月発行する「カリッパ」などのおたよりで情報を発信しています。また、保育園や幼稚園、子ども家庭支援センター、隣接している複合施設「ののおおやま」などにおたよりの配布をおこない、施設や学童クラブの情報を広く提供しています。さらに、SNSを活用して時代のニーズに合わせた情報発信に取り組んでいます。そのほか、「港区学童クラブ等入会案内」は施設に設置、来館した際に学童クラブの情報が得られるようにしています。</p> <p>リーフレットやおたよりなどは、子どもや保護者に伝わりやすい内容にしています</p> <p>リーフレットやおたよりなどは、施設のキャラクターを用いて親しみを感じる構成にしています。また、ホームページやSNSにアクセスできるように二次元バーコードの記載をし、利便性を高めています。リーフレットは、学童クラブや利用可能な施設を見取り図で掲載、分かりやすくしています。おたよりの「カリッパ」では、イベントプログラムを載せ興味を持ってもらう工夫をしています。外国の方の問い合わせには、外国語対応が可能な職員が説明をおこない、学童クラブ入会案内は、英語、中国語、ハングル語を用意し、必要に応じて渡しています。</p> <p>見学の際は、全職員が臨機応変に対応、学童クラブ室や施設全体を案内しています</p> <p>ホームページやリーフレットなどは、館長と施設の受付担任職員が新年度または、変更があった際に、更新をおこなっています。学童クラブの見学は、電話やメール、事前の申し込みが無くても、来館した際は、全職員が臨機応変に対応する体制を整えています。実際の見学では、学童クラブの部屋やほかに利用できる工作室、遊戯室、屋外運動場などの各部屋の案内をしています。また、子どもと保護者が一緒に見学する際は、学童クラブで遊んでいるこどもの様子を見る機会を設け、入会後の生活がイメージしやすくなるように案内をしています。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>学童クラブの入会時には、基本的ルール、重要事項を説明して同意を交わしています</p> <p>入会説明会時には、学童クラブのしおりに沿って読み合わせをおこない、職員が基本的ルールや重要事項について説明をしています。アレルギー対応と配慮が必要な子どもに関しては、個人面談で学童クラブでの対応内容や配慮点の確認をし、記録しています。学童クラブで使用する子どもの写真については、個人情報同意書に盛り込み、保護者と同意を交わし、同意が得られない場合は、一覧表にして職員間で共有を図っています。そのほか、利用負担金に関しては、「港区学童クラブ等入会案内」に記載し、理解を得ています。</p> <p>学童クラブでは、入会后子どもが新しい生活に慣れるための配慮をおこなっています</p> <p>職員は、入会関係の書類や児童票で、子どもに関する情報や要望を把握、全体会議で情報共有しています。また、入会前に在籍していた保育施設とは、子どもに関する情報を得るため必要に応じて聞き取りをしています。新1年生のため歓迎会の「ウェルカムカリッパ」を実施、施設の利用方法や行事紹介など慣れるための配慮をしています。一輪車やローラースケートなどの利用の際は、安全に配慮して、乗り方教室を開催しています。そのほか、退会で一般利用になった場合でも、自由に来館可能なことを伝え、施設キャラクター入りの物品を贈呈しています。</p> <p>配慮が必要な子どもに関しては、職員の体制を整え、必要な支援をおこなっています</p> <p>アレルギー対応や配慮が必要な子どもに対しては、アレルギー調査票や児童票をもとに個人面談の実施をし、適切な支援に努めています。配慮が必要な子どもに関しては、港区の指針に沿って職員の配置をおこない、保護者からは利用予定表の提出を依頼し、子どもが無理なく学童クラブの生活に慣れる配慮をしています。また、保護者と施設・港区の三者協議のもと、スクールバス停留所まで迎えに行く支援をおこなっています。そのほか、子ども家庭支援センターや児童相談所、学校と連携を図り、情報共有に取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10/10
評価項目1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している	○非該当
評価項目2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している	○非該当
●あり ○なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している	○非該当
評価項目3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>学童クラブでは育成支援について話し合い、こどもの姿に合わせ計画を作成しています</p> <p>学童クラブの職員会議では、毎月こどもの現状の姿や成長の様子について振り返り、次月の育成支援のねらいを話し合い、学童ミーティング議事録に支援計画を記録しています。また、育成支援計画は毎年見直し、更新をおこない行事内容の変更にも取り組んでいます。配慮が必要なこどもについては、港区巡回指導の先生へ相談したうえ、施設内職員会議で対応を検討しています。職員会議では全職員に共有を図り、巡回指導議事録に支援内容を記録しています。そのほか、入会説明会や保護者会では、学童クラブの育成支援や目標について説明しています。</p> <p>職員間でこどもに関する情報や支援方法について話し合いをおこない、記録しています</p> <p>学童クラブでは、こどもの様子や援助内容を育成日誌に記録をおこない、職員がいつでも振り返りができるように保管しています。また、日誌と合わせて、個別のケース記録の作成もおこない、こどもに関する必要な情報の記録をし、職員間で周知・共有しています。配慮が必要なこどもの記録に関しては、生活状況書をもとに、保護者から個人面談で聞き取りをおこない、こどもの特性に合わせた支援計画を立てています。そのほか、状況に合わせ学校や子ども家庭支援センターなどの関係機関とも支援内容の共有に取り組んでいます。</p> <p>学童クラブでは、こどもに関する情報共有をおこない、全職員にも周知を図っています</p> <p>学童クラブの職員は、月1回の学童クラブ会議でこどもに関する情報を共有しています。一日におけるこどもや保護者の情報は、職員間で口頭伝達をおこない、育成日誌に記録をしています。また、学童職員間連絡ノートも活用して情報共有をおこなっています。平日の昼に職員全体会議をおこない、学童クラブ職員以外の職員も、こどもや保護者に関する情報共有に取り組んでいます。そのほか、月1回の事例検討会議では、全職員でテーマを定め、共有したいことや、検討したいことなど事例を用いて対応方法の話し合いに取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どものプライバシーに配慮して援助している	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の援助の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮して援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 学童クラブ内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p><b>学童クラブでは、こどもに関する個人情報保護やプライバシー保護の徹底に努めています</b>            個人情報や写真の取り扱いについては、同意書を交わし入会時に保護者から同意を得ています。入会后、新たに外部との情報のやりとりが発生した際は、保護者の意向を確認しています。法人全体でプライバシーマークを取得し、学童クラブのこどもを含めた利用者のプライバシー保護の徹底に努めています。また、港区の個人情報保護研修を受講、個人情報の大切さを学び、職員間で共有しています。そのほか、排泄で失敗した際や水遊びの着替えは、こどもの羞恥心に配慮した対応をしています。</p> <p><b>職員は、日常の援助のなかで、こども一人ひとりの人権に配慮した対応を心がけています</b>            職員は、日常の援助のなかで、こども一人ひとりの思いを受け止め、こどもの個性を把握することに努め、尊重する関わりを大切にしています。また、こどもの声や思いに、できる限り傾聴することを心がけ、不快な気持ちを持ったまま帰宅することが無いように、職員からの言葉かけや対応の仕方に注意を払い、こどもと関わっています。そのほか、名前を呼ぶ際は、「ちゃん」「くん」をつけて呼び、こどもが不快な気持ちになる呼び方をしないなど、人権に配慮した名前の呼び方を徹底しています。</p> <p><b>保護者やこどもの生活習慣を理解したうえで、適切な援助をしています</b>            学童クラブの職員は、保護者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した援助をおこなうため、こどもとの関わりを通し、保護者の思いや気持ちを受け止め、理解したうえで、必要に応じた適切な援助ができるように努めています。学童クラブ内で暴力やいじめ、こども同士でのトラブルが起こった際には、こどもと向き合い、解決策や再発防止について話し合っています。また、トラブルの内容によっては、学校や保護者、子ども家庭支援センター、児童相談所と連携を図り、対応に取り組み、職員間で共有しながら再発防止に取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		<b>評点(〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている	○非該当
<b>サブカテゴリ-6の講評</b>		
<p>各マニュアルは手順内容を明確にし、一定水準の業務が遂行できるよう取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、港区の児童館運営マニュアルを始め学童クラブ運営マニュアル・職員用マニュアルなど整備し、手順内容を明確にしています。学童クラブの業務に必要なマニュアルは、パソコン内のフォルダーに格納をし、職員はいつでも確認することができます。また、年度末には職員で読み合わせと見直し・更新をおこない、職員間で共有して一定水準の業務が遂行できる取り組みをおこなっています。そのほか、業務でわからないことが起きた際は、職員会議などで随時、確認をしています。緊急を要する際は、上司に相談できる体制を整えています。</p> <p>各マニュアルは年度末や必要に応じて見直しをおこない、職員に周知、共有しています</p> <p>学童クラブでは、港区作成のマニュアルを活用して、学童クラブの運営に取り組んでいます。また、港区から改正や変更がある際は、その都度、マニュアルの見直しをおこない、職員に周知、共有を図っています。新しく入職した職員には、学童クラブ業務マニュアルを活用して、一日の業務の流れや受け入れ対応や子どもが帰った後の動き方などの手順説明をおこなっています。さらに、各部屋のマニュアルは、年度末に職員で見直しをおこない、整備するとともに誰もが同じ対応ができるように学童クラブ業務の標準化に取り組んでいます。</p> <p>子どもや職員からの意見を取り入れ、改善に取り組み、サービスの向上を目指しています</p> <p>学童クラブでは、提供するサービスの向上を目指し、年度末に利用者満足度調査アンケートをおこない、保護者や子どもなどの利用者から意見、提案の収集をおこない、内容を精査して反映に取り組んでいます。学童クラブでは、保護者からの意向を受けて配慮が必要な子どもには、安全面を考慮した支援をしています。職員からの提案では、子どもの人数調整のためのパーテーションなど、仕切りを使用せずに職員全体で、子どもを見守る運営に取り組んでいます。職員は、サービスの向上を目指して、より良い環境作りに取り組んでいます。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	28 / 28
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じて援助している		評点(0000)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで援助している	○非該当		
●あり ○なし	2. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め、お互いを尊重しながら協力し合い、関係を豊かに作り出せるよう援助している	○非該当		
●あり ○なし	3. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか等)に対し、子どもの意見に耳を傾け、感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している	○非該当		
●あり ○なし	4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当		
評価項目1の講評				
<p><b>職員はこどもの姿を把握、支援内容を話し合い、こどもに合った援助をおこなっています</b></p> <p>学童クラブでは、こどもの発達の過程や生活環境の違いの把握に努め、こども一人ひとりに合った援助をおこなっています。職員は、こどもの気になる姿や行動があった際はケース記録の作成をおこない、支援内容を話し合っています。また、支援を必要とするこどもには保護者と面談をおこない、連携を図りながら状況に応じた支援に取り組んでいます。また、職員は新1年生の状況を把握するために、こどもが通園していた保育園を訪問しています。入会前の成長過程や配慮点などの聞き取りをおこない、内容を参考にして学童クラブでの支援にあたっています。</p> <p><b>施設では、異なる年齢のこどもたちが自然に交流できるイベントを企画、実施しています</b></p> <p>学童クラブでは、こどもが互いの違いを理解し認め合い、協力しながら豊かな関係を築ける環境作りに取り組んでいます。施設では、異なる学校のこどもが児童館に来館することを考慮し、学童クラブのこどもも学年や学校に捉われず、こども同士でコミュニケーションを取れる環境を整えています。また、自然と交流ができるように、こどもが参加しやすいさまざまなイベントを企画し、実施しています。職員は、こどもの発達段階に応じた配慮として、低学年と高学年に分けて、それぞれの年齢に合った活動をおこなう機会も設けています。</p> <p><b>こども同士のトラブルは、思いを丁寧に聞きこどもたちで解決できる支援をしています</b></p> <p>発達の過程で生じるこども同士のトラブルに関しては、場所を変えながら、両方のこどもの思いを丁寧に聞き取り、こども同士が納得できる働きかけをおこなっています。また、トラブルの当事者であるこどもが興奮状態にある際は、周りのこどもの話も聞き、冷静な解決ができる支援をしています。職員は、遊びを通してこどもが悩みや相談を話せる信頼関係を築いています。また、配慮が必要なこどもが、集団生活のなかで成長できるように、こども一人ひとりの特性に合った援助をしています。</p>				

2 評価項目2 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、発達段階にふさわしい遊びと生活を送ることができるよう環境を工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが集団活動に主体的に関われるよう、援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 生活や遊びを通して日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう、援助している	○非該当
評価項目2の講評		
<p>職員は、こどもの主体性を育むために「カリッパ委員会」を開催しています</p> <p>職員は、こどもたちから遊びや生活に対して要望があった際は、「カリッパ委員会」を随時開催し、こどもの意見を尊重する話し合いの場を設けています。職員は、こどもからの意見が実現できるように、職員会議で協議しています。また、職員の意見をこどもたちと考える場を設け、話し合いをおこなっています。こども一人ひとりの意見を取り入れることで主体性を育み、発達に合わせた適切な遊びと生活ができる取り組みをしています。そのほか、図書室では、靴を脱いで家庭のような雰囲気やゆったりと過ごせる環境を提供しています。</p> <p>職員は、集団生活を通して、こどもが主体性を持ち、活動ができる援助に努めています</p> <p>職員は、集団生活を通して、こどもが主体性を持ち活動ができるように、さまざまな援助に努めています。年間を通して開催する施設の行事や学童クラブのイベントなどは、生活や環境に少しずつ慣れながら、こどもたちだけで企画、運営ができるよう関わっています。また、行事内容は、こどもたちが興味を持ちイメージを膨らませ、主体的な活動につながる働きかけをしています。集団生活が苦手なこどもには、個性や特性に合わせ、一人ひとりのペースを把握し、こどもの気持ちを尊重しながら、少しずつ集団生活に慣れる支援をしています。</p> <p>こどもたちが生活習慣を身に付け、自立した生活が過ごせる支援をしています</p> <p>学童クラブの職員は、生活や遊びを通して、こどもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるように、支援や援助に取り組んでいます。手洗いに限っては、衛生面と健康面の両面から、習慣化するように繰り返し声をかけ促しています。また、身の回りのことや遊び終わった後の玩具の片付けなどは、都度声をかけていき、こどもたちが自立した生活が過ごせる支援をしています。そのほか、ゲーム時間には目を休める時間を設け、おやつには勉強機を分けるなど、生活のなかで切り替えができる工夫をしています。</p>		
3 評価項目3 日常の活動に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 子ども同士が意見を出し合いながら企画や活動をつくり上げていく機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目3の講評		
<p>行事では、こどもからの意見を聞き、興味や関心が持てる環境作りに取り組んでいます</p> <p>行事では、こども自ら進んで取り組み、興味、関心が持てるように、こどもからの意見を聞き取っています。施設のイベントでは、こども実行員を募集し、行事の準備段階から関わられるようにしています。また、行事のチラシや看板の作成をこどもたちが担当し、期待感を高めるとともに、共同制作で達成感を味わえるようにしています。2024年度は「多摩六都科学館」に行き、普段見ることがない展示物を見学するなど、特別感を味わう機会を提供しています。</p> <p>行事では、こどもたちからの意見を取り入れ、積極的に関わる環境を整えています</p> <p>学童クラブの職員は、こどもたちからの意見や要望を積極的に取り入れ、意見を反映した行事開催の実現に向けて取り組んでいます。職員は、「カリッパ委員会」を実施し、こどもたちが自由に意見を出し合い、行事に関する意見を取り入れています。施設全体の行事「カリッパ子どもまつり」では、出店する内容をこどもたちの考えをもとに、決定しています。こどもたちからは、射的、クレーンゲーム、駄菓子屋、小物屋さんなどの要望があり、職員はこどもが担当する出店のチラシや看板製作など、企画・運営に積極的に関わる環境を整えています。</p> <p>保護者とはこどもの取り組む姿や成長を共有し、行事への理解と協力をお願いしています</p> <p>学童クラブでは、行事に対し、保護者の理解を得るため、学童クラブのおたより「かつぱのおさら」で、毎月の行事の様子を写真などで掲載し、発信しています。また、お迎えに来た時などに、こどもの行事に取り組む姿や成長している様子を伝え、共有を図っています。そのほか、保護者には、「カリッパ子どもまつり」や学童クラブの行事にボランティアスタッフを呼びかけ、協力をお願いをしています。学童クラブでは、こどもが意欲的に行事に参加できるように、保護者の理解と協力を得ながら進めています。</p>		

4 評価項目4 子どもの主体性を尊重し、学童クラブでの生活が楽しく、快適になるような取り組みを行っている			評点(〇〇〇)・非該当1
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自ら進んで学童クラブに通い続けられるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 共通する生活時間の区切りをつくり、子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している		○非該当
○あり ○なし	4. 【「新・放課後子ども総合プラン」「都型学童クラブ実施要綱」に基づき放課後子供教室と一体型で実施、または連携して実施する場合】 子どもが放課後子供教室の活動プログラムに参加しやすいように連携を取りながら援助している		●非該当
評価項目4の講評			
<p>こどもが学童クラブへ自ら進んで通い、楽しめるように行事や活動内容を工夫しています</p> <p>学童クラブでは、ホワイトボードを活用して児童館や学童クラブの行事、活動内容を事前に知らせ、学童クラブへ通うことが楽しみとなる取り組みをしています。学童クラブへの出欠席については、ICTシステムを活用し、把握をおこなっています。また、連絡がなく欠席した場合には、職員が保護者に電話をかけ、欠席理由の確認をおこなうなど、早急な対応を心がけています。お迎え時の際は、保護者に積極的に声をかけ、家庭や学校、学童クラブでの様子を情報交換しながら相互理解を図り、こども自ら学童クラブへ通える取り組みをしています。</p> <p>こどもたちが、生活の流れに区切りをつけ、主体的に活動できる環境を整えています</p> <p>学童クラブでは、こどもたちに施設のそれぞれの部屋で開催されるクラブ活動やイベントを案内、主体的に活動できる環境を整えています。職員は、こどもが自由に選択した活動と合わせて、学習やおやつコーナーや時間に区切りをつけ、生活の見通しが持てる働きかけをしています。学校の長期休業の夏休みや冬休みでは、一日の活動に少しずつ変化をつけ、遊びや食事、おやつなどの切り替えができる配慮をしています。また、映画鑑賞の時間を多めにするなど、いつもとは違う時間を設け、生活のなかでメリハリをつける工夫をおこなっています。</p> <p>こどもが安心して活動できる環境への工夫や、交通安全教室で交通マナーを学んでいます</p> <p>学童クラブでは、こどもが安心して活動できる室内外の環境を整備しています。室内では、おやつと学習コーナーのエリアを分け、それぞれの活動が安心して過ごせる工夫をしています。また、怪我やトラブル発生する可能性がある場合は、職員がしっかりとルールを伝えたり、安全に遊ぶための基本ルールの掲示したり、安全面に注意を払っています。そのほか、警察署による交通安全教室を開催し、下校時の交通安全や横断歩道の渡り方など交通マナーを学んでいます。春の交通安全教室では、新1年生を中心に交通安全への意識が高まる指導をしています。</p>			
5 評価項目5 子どもが日々の生活を円滑に過ごせるよう、学校等と密に連携を図っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>職員は学校との情報共有や連携に努め、こどもの生活が円滑に過ごせる配慮をしています</p> <p>職員は、こどもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせる配慮をし、学校と情報共有をおこない連携を図っています。また、こどもの様子で気になる事があった際は、館長が窓口となって学校に連絡をし、副校長や担任教諭と情報交換や適切な支援に取り組んでいます。そのほか、各学校で定めた通学路のマップを確認するとともに、学校から学童クラブに通う通学路点検に職員が参加するなど、学校との情報共有に取り組んでいます。災害や有事の際は、学校から連絡が入る体制を整え、安全管理に関する情報共有の徹底を図っています。</p> <p>学校と情報共有を図り、こどもにとって必要な援助と安心して過ごせる配慮をしています</p> <p>学童クラブでは、さまざまな課題を抱えるこどもについて、学校と密に情報共有しながら、こどもの気持ちに配慮した支援に取り組んでいます。学童クラブでは、主に館長が窓口となり、校長や副校長、クラス担任教諭と連携を図り、こどもの状況について情報交換をおこなう体制を整え、必要な援助に取り組んでいます。職員は、こどもの学校での様子を確認するため学校見学に行き、こどもの状況確認に取り組んでいます。そのほか、学校には、学童クラブができる支援を明確に伝え連携しながら、こどもが安心して過ごせる配慮をしています。</p> <p>配慮が必要なこどもの支援では、保護者や関係機関と支援方法の共有に努めています</p> <p>障がいのあるこどもや配慮が必要なこどもの援助にあたっては、保護者からの調査書をもとに面談をおこない、こどもの発達状況や適切な支援について話し合いをおこなっています。子ども家庭支援センター、児童相談所とも連携を図り、支援方法や情報共有に努め迅速に対応しています。そのほか、こどもの個人情報も多く含む内容がある際は、情報の取り扱いに十分配慮し、特定の職員で周知を図っています。また、職員全体で共有できる事柄は、全体共有を図り、個人情報の保護を徹底に努め、より良い支援体制を整えています。</p>			

6 評価項目6 子どもがおやつを楽しめるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している	○非該当
評価項目6の講評		
<p>学童クラブでは、提供するおやつを工夫しながら楽しく食べられる環境を整えています</p> <p>学童クラブでは、週に1回、子ども全員と一緒に食べる機会を設け、いつもと違う雰囲気楽しくおやつを食べることができる環境を整えています。また、夏はアイスやゼリーなど冷たいおやつを多く取り入れ、冬はスープやうどんなど身体が温まるメニューを提供するなどの工夫をしています。そのほか、季節に合った果物を多く取り入れ、手作りおやつなども工夫して提供しています。お誕生会の日、誕生日の子どもにおやつの要望を聞き、特別感を味わうなど、子どもたちのおやつの時間が楽しみになる工夫をしています。</p> <p>学童クラブでは、おやつの提供時間を定め、楽しんで食べられる配慮をしています</p> <p>学童クラブでは、子どもの来所時間や家庭での夕食の時間帯を考慮し、おやつの提供時間を15時から15時45分頃までを目途に設定しています。また、学校の授業時間が長く、子どもの来所する時間が遅くなること多い曜日には、おやつの提供量の調整をおこない、夕食時間に影響がでないように配慮をしています。さらに、学童クラブの職員は、子どもから食べたいおやつを聞く機会を設け、子どもがリクエストしたおやつをできる限り反映させ、人気のあるキャラクターや季節に合ったパッケージのおやつを選ぶなど、楽しんで食べられる配慮をしています。</p> <p>学童クラブでは、子どもの食物アレルギー対応や、安全面に配慮して提供しています</p> <p>学童クラブでは、子どもの食物アレルギー対応として、全てのおやつにアレルギー成分が入っていないものを提供しています。また、注文したおやつは、職員2人でアレルギー成分が混入していないかチェックし、提供時にも再度チェックをおこなっています。そのほか、職員がおやつの準備、提供する際は、手袋、三角巾、エプロンを着用しています。テーブルを拭く際も、口に入っても安全な消毒液を使用し、布巾で拭くなどの衛生管理に取り組んでいます。また、安全面に配慮して、食物アレルギー対応マニュアルを整備しています。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもには、手洗いの大切さに気づけるように促し、安心して遊べる環境を整えています</p> <p>学童クラブでは、子どもが健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防、防止できる働きかけをしています。手洗い場には、手を洗うときの正しい洗い方や、感染症対策のためのマスクの着用方法、咳エチケットなどを掲示することで子どもが手洗いの大切さに気づき、感染症対策を意識できる工夫をおこなっています。また、職員は子どもが安全に遊ぶために怪我や事故を想定した適切な指導をおこない、安心して遊べる環境を整えています。そのほか、感染症防止のため室内の換気や加湿器の設置し、備品に関しては消毒を徹底しています。</p> <p>子どもの怪我や体調に変化があった際は、保護者と連携した対応に取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、子どもの怪我や体調に変化があった際は、保護者に連絡し、対応内容を相談しています。緊急性の高い怪我の際は、職員が病院に連れて行く体制を整えており、迅速な対応をしています。また、子どもの怪我や体調不良の際は、最初に保護者へ連絡をおこない、各医療関係機関での受診や、安静にしてお迎えを待つなど保護者と連携した対応に取り組んでいます。職員は、事故や体調不良が発生した際、管理職へ迅速に連絡し、港区にも報告をおこなっています。港区の書式の報告書には、内容を詳細に記録して再発防止に努めています。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている	○非該当
評価項目8の講評		
<p><b>保護者の就労や事情に合わせた支援に努め、個人面談でこどもの様子を把握しています</b>  保護者には、就労などの個々の事情に合わせて預かり時間の調整などの対応をおこなっています。職員は、保護者と個人面談をおこない、家庭での様子の把握に努め、職員で共有しています。また、保護者から要望がある際は、個別で面談の機会を設けるなど丁寧な対応を心がけています。保護者会では、おやつ代や安全計画などを伝えており、共有を図っています。そのほか、保護者会のなかに座談会の時間を設けたり、行事のボランティアとしての参加を依頼したり、保護者同士が交流を持てる場を提供しています。</p> <p><b>職員は、保護者にこどもの成長した姿を丁寧に伝え、信頼関係の構築に取り組んでいます</b>  保護者会では、こどもが活動している姿を写真に撮り、スライドショーにして上映し、保護者とともに成長を喜ぶ機会を設けています。また、毎月発行の「かっぱのおさら」では、誕生会やイベントを楽しむこどもの姿を写真とともに紹介、保護者に日々の活動の様子を伝えています。さらに、施設内には、保護者に職員のことをより身近に感じてもらえるように、職員紹介を掲示しています。学童クラブの職員は、こども一人ひとりの成長した姿を丁寧に伝えて、保護者との信頼関係を築く取り組みをおこなっています。</p> <p><b>職員は、保護者と個人面談やお迎え時のやり取りを通して、共通認識を図っています</b>  学童クラブでは、個人面談やお迎え時のやり取りのなかで、こどもの様子や発達の状況を確認をして、共通認識を図っています。面談の情報を職員間で共有し、適切なこどもとの関わり方に努めています。お迎えの際は、こどもの様子などを伝えコミュニケーションを図っています。また、こどもの出欠席の確認を必ずおこない、連絡がなく出席が確認できない場合は、早急に保護者へ電話連絡を入れ、状況の確認をしています。職員は、こどもが安全に過ごせる環境を確保するために、保護者との情報共有をし協力体制を整えています。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 学童クラブの行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが地域の子どもや大人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p><b>学童クラブでは地域資源や地域企業を活用し、さまざまな体験の機会を提供しています</b>  学童クラブでは、地域資源や近隣の企業と連携し、さまざまな体験や交流の機会を提供しています。消防署、警察署の協力のもと安全教室を実施し、安全について学ぶ機会を設けています。また、保育園や近隣学童クラブとの行事の開催や図書館での読み聞かせに参加しています。さらに、みなとリサイクル清掃事務所の清掃車「みえる号」の体験会も実施しています。そのほか、近隣民間ビルでの屋上にて観望会をおこなったり、紙芝居師や人形劇団による公演を鑑賞したりしています。こどもたちは、行事やイベントの機会を通し、多くの学びを得ています。</p> <p><b>こどもたちにさまざまな人と関わる機会を設け、豊かな経験と生活の幅を広げています</b>  施設や学童クラブでは、地域の運営協力を得て、行事を開催しています。こどもたちには、行事を通し、さまざまな人と関われる機会を設け、生活の幅を広げています。青山探検隊では、地域の施設や文化財を訪問し、貴重な体験をしています。NPO団体によるアニマルセラピー、ハンドマッサージを受けたり、地域企業による残布を使用したSDGs工作講座でものづくりの楽しさを体験したりするなど、外部団体と連携を図り、豊かな経験につながる場を設けています。</p> <p><b>施設では、中・高校生世代に施設を知ってもらうため、さまざまな企画を設けています</b>  施設では、中高生世代の学生たちを対象に、さまざまな企画を設けています。お菓子を食べながら楽しく交流できるAO-Caféやスポーツが楽しめるAO-SPO、ゲームなどをしながら会話が楽しめるAO-Talkなどを開催しています。「中高生カリッパ委員会」では、中・高校生からの意見を収集しています。バンド活動や読書、勉強ができる中・高生ルーム内の環境も整備しています。職員は、積極的な声かけでコミュニケーションを図り、中・高校生世代の学生たちのニーズに応え、楽しめる企画を立てています。</p>		

サブカテゴリー7		
7	大型児童館の活動に関する事項	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目1 大型児童館の活動に関する事項		評点()
評価	標準項目	
○あり ○なし	1. 大型児童館としての施設・設備や人材を有効に活用している。	○非該当
○あり ○なし	2. 都内児童館の連絡調整と支援を行っている。	○非該当
○あり ○なし	3. 児童の健全育成に関する関係機関及び地域団体等との連絡・協議を行っている。	○非該当
○あり ○なし	1. 都内児童館で活用できる各種遊びのプログラムの開発と普及を行っている。	○非該当
○あり ○なし	2. 児童館のない地域等に出向き、遊びの提供、子育てや健全育成に関する啓発に取り組んでいる。	○非該当
サブカテゴリー7の講評		
<p><b>施設では、設備や人材を活用して、こどもにさまざまな体験ができる環境を整えています</b>  施設では、学童クラブと施設の職員が連携を図り、大型児童館としての設備や人材を活用し、こどもにさまざまな体験ができる環境を整えています。施設内には、遊戯室や屋外運動場や中・高生ルームなどを整備しており、月の開催イベントや活動目的に合った場所を提供しています。また、港区内の児童館や中高生プラザと連携し、合同行事を実施しています。そのほか、他の中高生プラザとは、互いの施設で職員が交互に現場実習に取り組み、こどもの居場所と環境作りを進め、施設の機能を活かした支援体制を整えています。</p> <p><b>施設では健全育成を目的として、関係機関や地域団体との連携や協議に取り組んでいます</b>  児童健全育成促進財団が主催する研修に参加し、職員の専門性向上に努めています。「放課GO→クラブ」などの学童クラブとは、合同で行事を実施しています。また、地域の学校や保育園、青少年委員会、町会、民生・児童委員、地域施設、地域企業などのさまざまな団体とは懇談の場として「地域懇談会」を開催しています。施設では、地域全体でこどもを見守り、健全育成を支えるための情報共有や意見交換をおこない、より良い支援体制の構築を目指しています。</p> <p><b>職員は、こどもたちに遊びの提供をおこない、こども同士の交流や成長を促進しています</b>  施設では、職員が児童健全育成推進財団主催の「ジャンジャン」の研修に参加し、伝統的な遊びや集団遊びについて学んでいます。研修を修了した職員は、認定トレーナー講師として、こどもたちに対して積極的に伝統的な遊びや集団遊びを提案して、遊びを通してこども同士の交流や成長を促しています。また、小学校の授業の一環として「遊びの出前講座」に行き、こどもたちにさまざまな遊びを提供しています。出前講座を通じて、学校で楽しめる遊びのバリエーションを広げるとともに、こどもたちが主体的に学べる環境作りをおこなっています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	施設では地域と連携を図り、事業運営に力を入れ地域に親しまれる施設を目指しています	
内容①	施設では、学童クラブを含む地域資源の児童施設としての役割を担い、町会、企業、学校のPTAなどと連携を図りながら、積極的な事業運営に力を入れ進めています。また、法人運営の高齢者施設と連携し、「児童・高齢者交流委員会」を立ち上げ、利用者同士の交流を促進する取り組みにも力をいれています。さらに、地域や高齢者の方々との連携を一層深めるため、世代間交流や地域交流を活性化させる具体的な施策検討に取り組んでいます。施設は、子どもが地域と関わるための周知に取り組み、より多くの方に親しまれる施設を目指しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	施設では、旧青山児童館で積み重ねてきた活動の継承と発展に力をいれています	
内容②	施設では、旧青山児童館の設立当初から語り継がれている土地の守り神「カリッパ伝説」を継承し、活動の発展に力をいれています。イベントでは「青山探検隊」と称し「カリッパ」や青山地域の歴史について学ぶ機会を提供しています。施設内やおたよりの案内でも親しみを感じられるように「カリッパ」を採用し、次世代への継承に取り組んでいます。また、ローラーホッケー、オペレッタなどはクラブとして活動内容を変え、充実化を図り子どもがイベントやクラブなどの集団活動を通して、遊びと生活が豊かに展開していくことを目指しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	職員の満足度向上と就労環境の整備を進め、やりがいのある職場づくりに努めています	
内容③	法人は、離職防止委員会を設置し、職員満足度アンケートを通じて意見を収集し、事務局と委員会で回答することで職員の声に向き合っています。また、リフレッシュ休暇取得制度を整備し、希望に沿ったシフト体制を調整し、働きやすい環境づくりを進めています。また、管理職や指導職は日頃から声かけや質問を工夫し、意見を出しやすい雰囲気づくりに努めています。今後は職員インタビュー動画を制作し、仕事への思いや経験談を共有することで意欲向上と課題解決を図ります。職員のアイデアや意見も尊重し、やりがいを感じる職場づくりを推進しています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	施設では「カリッパ委員会」を設け、こどもの意見を取り入れ主体性を伸ばし、より良い生活と遊びの実現に向かう環境を整えています
	内容	施設では、こどもの意見を積極的に取り入れる場として「カリッパ委員会」を設けています。遊びや生活のなかで、取り入れて欲しいこと、改善して欲しいことなど、こども自らの思いが発言できる場となっています。また、職員もこどもたちに向けて、一緒に考えてほしい課題を発信し、意見を交わしています。さらに、こども同士でも悩みを打ち明け解決策を話し合うなど、相手の立場に立ち、尊重しながら意見交換をおこなっています。施設では「カリッパ委員会」を通してこどもの主体性を伸ばし、より良い生活と遊びの実現に向かう環境を整えています。
2	タイトル	学童クラブは、児童館施設のクラブ活動に参加できる環境を整え、さまざまな楽しい体験と活動の提供でこどもの自己成長につなげています
	内容	学童クラブは、児童館と併設した施設であることが特長です。こどもたちには、学童クラブだけではなく、児童館施設を活用してダンスクラブ、オペレッタクラブ、フットサルクラブ、ローラーホッケークラブなど講師指導によるクラブ活動に参加できる環境を整えています。また、こどもたちは、学童クラブ内での生活や活動のみならず枠を超え、児童館施設で開催される、さまざまな楽しい体験と活動を展開していき自己成長につなげています。学童クラブでは、こどもたちに豊かな遊びの提供と主体的な活動を促し、健やかな成長を支える環境を整えています。
3	タイトル	SNSやお知らせを通じて施設の活動やイベント情報を広く発信し、地域との関わりを深めながら保護者や利用者に情報を提供しています
	内容	施設の概要やイベント情報を周知するため、毎月のお知らせ「カリッパ」を乳幼児版と小学生版に分けて配布しています。保護者には学童クラブのおたより「かっぱのおさら」で行事の様子や写真を掲載し、活動内容を伝えていきます。また、お迎え時には職員が積極的に声をかけ、保護者との信頼関係を深めています。さらに、中高生利用者の意見を受け、お知らせはSNSでの情報発信に移行し、乳幼児や小学生向けの情報も統合しています。イベントや日々の取り組みを広く発信し、施設の活動を多くの方に知ってもらい、利用者や地域との関わりを深めています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	学童クラブでは、こども一人ひとりの事情や特性を把握していき、こどもの気持ちに寄り添った支援のさらなる改善に取り組んでいます
	内容	学童クラブでは、多様な背景を持つこども一人ひとりの事情や特性を把握したうえで、こどもの気持ちに寄り添った支援をおこなう必要があると考え、さらなる改善に取り組んでいます。また、職員は、こどもや保護者への理解を深め、適切な対応をおこなうスキル向上のため、各種研修に積極的に参加し、学びを実践に活かしています。今後はさらに、学校、子ども家庭支援センター、児童相談所などの関係機関とも連携を図り、施設全体での情報共有に努め、こどもの最善の利益を考慮した支援を高めるため職員間による協力体制の構築を目指しています。
2	タイトル	視覚的な広報の強化や職員のアイデアを柔軟に取り入れ、地域全体に施設の魅力を広く発信し、利用者の拡大を目指しています
	内容	施設の広報活動では、公式ホームページや法人広報誌、毎月のお知らせ「カリッパ」の配布に加え、SNSを活用し、施設概要やイベント情報を発信しています。今後は地域住民への認知度向上を目的として、隣接する公園側に施設名の看板設置を検討し、視覚的に広報の強化を図る方針です。また、職員からの意見や新しいアイデアを積極的に取り入れながら、地域とのつながりをさらに深め、多角的なアプローチで広報活動を展開していきます。施設の実在や魅力を地域全体に広げ、より多くの方に親しまれ、利用される施設となることを目指しています。
3	タイトル	施設目標として掲げる地域連携を進め、近隣企業や地域資源を活用してこどもたちに豊かな体験を提供する環境の整備を進めています
	内容	施設では2024年度の目標の一部として地域連携の強化に取り組んでいます。コロナ禍の収束に伴い、企業の社会貢献活動が再開し、区を通じた連携の紹介も増えています。現在、青山探検隊や職業体験、学生サークル活動など、地域資源を活用した取り組みを実施し、こどもたちに多様な体験を提供しています。今後は、施設の運営状況や職員体制を考慮しながら、地域や企業との連携をさらに深め、こどもたちにより豊かな体験が届けられるよう工夫を重ねていきます。地域全体とのつながりを一層強化し、より充実した活動環境を整えることを進めています。